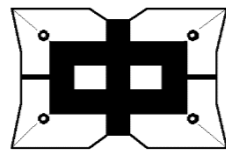


Puzzle



コミュニティ・スクールだより
R4年5月 文責 CS推進員 西川希志子



5月号では、河内小学校で行われた新校舎の落成式や、児童たちが地域の方々と一緒に活動したことをご紹介したいと思います。

河内小学校



5月9日(月)にアユの放流体験をしました。沼田川漁協の後藤組合長の「一匹でも多く天然のアユが増えるように、川を汚さない、綺麗にすることを一人一人が気を付けてほしい。」との話を聞いたあと、児童みんなで校舎南側の沼田川にアユの稚魚を放流しました。河内町のマンホールの図柄にもなっているアユの放流を行うことで、ふるさとの自然の豊かさに気づいてくれると思いました。沼田川漁協の皆さんありがとうございました。



5月10日(火)には、3年生4名が、大道地区永岡さんの畑に綿花、藍とマリーゴールドの苗を植えました。綿花を植えるための畝づくりから始めました。

最初はくわが上手に使えなくて苦戦していた4人でした。「くわが重い」と言いながらも畝づくりを続けていくうちに、とても上手になっていきました。夏休み明けごろには綿花の白くて可愛いらしい花が、学校前、道路沿いの畑に咲きますので、皆さんもご覧くださいね。チーム豆っこの皆さん、楽しい体験をありがとうございました。



令和4年5月13日(金)に東広島市立河内小学校の新校舎落成式がありました。高垣市長、市場教育長、東広島市議会議長の石原様、自治組織の方々にご臨席いただき、6年生が「河内豊作太鼓」・「河内こども神楽」、3・4年生が「童謡一人歌い」を、立派に披露しました。児童代表の6年生の村上さんは「地域の伝統を受け継いで、地域のことを学びながら思いを伝えていけるように努力します。」と挨拶しました。これから、保護者や地域の方々と一緒に、新たな河内小学校の伝統をつくっていかれることでしょう。



コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域の皆さんが、共に知恵・声を出し合い、協働し、それぞれの思いを反映させた学校運営を行う仕組みで、保護者・地域の代表・学識経験者などで組織する「学校運営協議会」を設置した学校の事を言います。コミュニティ・スクールを導入することで、こうした取組が、地域の活性化や生きがいづくりにも繋がっていくと期待されています。

地域安全ボランティア活動

河内小学校・入野小学校・河内中学校の児童・生徒の登下校を見守って下さっているの方々をご紹介します。

河内小学校

河内地区では、信号機のない横断歩道で、児童が安全に渡れるよう、また、学校までの通学路を児童と一緒に通って見守り活動を行って下さっています。いつも本当にありがとうございます。



〈西条地区〉



〈西条地区〉



〈鉄南地区〉



〈鉄南地区〉

入野小学校

雨の日は、傘をさして児童につきそって登校して下さい、バス停についたら児童がバスに乗る時に、児童が濡れないようにと気を遣って傘を差し出して下さったり、バスに乗った後も児童たちに「行ってらっしゃい」と声をかけて下さったりしています。今回、お話を聞かせて下さった入野中屋谷地区の戸光様・茶木様、入野派出所の己斐巡査部長様、雨の中、児童たちの登下校を温かく見守って下さり、どうもありがとうございました。一緒に歩いて下さっている保護者の方々もいつもありがとうございます。



河内中学校

上河内交差点・中学校前で有平さんご夫妻と平賀さん・村上さんのお二人が生徒の見守りをして下さっています。

有平さんご夫妻は、入野方面からの生徒が安心して交差点を横断できるように生徒の姿が見えてきたら、すぐさま、どちらの信号機が渡れるかを確認して下さい、生徒は迷うことなく横断歩道を渡って行きます。

寒い朝にはカイロを貼って、大雨の時には足元が濡れて着替えがいるけれど、「元気をもらえるから頑張る」と話して下さいました。

中学校前では少年補導員である平賀さん・村上さんのお二人が、生徒たちが安全に登校できるように、また、一日元気に過ごせるよう、一人一人に気持ちのいい挨拶をして下さいます。いつも本当にありがとうございます。



河内中学校では6月21日(火)~23日(木)に職場体験を予定しています。生徒は自分が何う事業所も決まり、5月12日(木)には講師を招いてマナー講座を行っています。5月23日(月)には生徒が自分で体験学習をさせていただき事業所に電話をして、打ち合わせなどを行います。各事業所の皆様どうぞよろしくお願いいたします。